

# 実践活動協議会 分科会 校種別協議会のまとめ

2017年5月21日（日）

## ◎幼稚園グループ

- 家族のルールを決める。使用場面・使用時間の制限など。可能な限り使用頻度は少なくしておくことも大切。
- 保護者同士でも統一したルールを決めておく必要がある。
- リアルで見えるものも大切にしていきたい。
- 手段(使うこと)を目的にせず、活用するということが大切。
- コミュニケーションを図りながら上手に使うようにしていきたい。
- スマホやメディア(アプリ)に頼りすぎない。補助的な使い方がよい。
- 親の姿を子どもはよく見ている。機器を使用する際には子どもが納得できるような理由が必要。
- 「ちょっと待って」は親の都合。優先すべきは子どもに向き合うこと。

## ◎小学校（1）グループ

### ・情報を調べる力をつける

→本当の情報は何かを見極める能力を身につけないと、ネット上の情報に支配されることになってしまう。情報を鵜呑みにしない。自分で判断できるように情報活用能力を身につける。

### ・実体験を大切にす

→実際に向き合うこと、感じたこと(五感)を大切にす。実際の楽しさを感じられるようにす。

### ・コミュニケーション能力を高める

→SNSなどで誤解を生むこともなくなる。トラブルも減る。

→相手に自分の思いを伝える力、相手が何を伝えようとしているかを受けとめる力をつけていく。普段の親子の会話も大切にす。

### ・上手に正しく使う力をつける

→親自身も使い方を学んで子どもたちに伝えられることを増やす。写真などの投稿には、思っている以上の情報が含まれている。安易な発信は危険。その基準判断ができるように。信頼はしながらも、親がしっかり管理確認していくことが必要。ルールづくりを。

## ◎小学校（2）グループ

### ・スマホのマナー

グループ内の連絡・学習の活用は有効だが、これまでにあたりまえとされてきた学習が身につくのか(辞書引きなど)、親を介さずにメールの削除ができるなど親が把握できないことが増えることがやはり心配。小6女子のほとんどは、SNSアプリでやりとりをしている。不便な生活の中から学んできたこともある。

### ・スマホやタブレットを買い与える時期

情報化社会で生きる子どもたち。小さいときからあえて使用し、スマホのルールを子どもたちに教えてはどうか。一方で、使いながらルールを学んでいくのかといった時期は、各家庭がきめること。ただ、大事なことは、「しっかり大人がみていく必要がある」ということ。

### ・情報があふれている社会だから・・・

ネットに書かれていることはすべてが真実のことではない。そういったことを判断、見極める力が必要。投稿するときにも、無責任な投稿はしないといったことを子どもと一緒に考えていきたい。

## ◎中学校（1）グループ

メディアの影響の大きさ、情報の多さ、信頼性の問題、誤解の受けやすさなど、便利さの陰にある危険性について、保護者や周りの大人がしっかりと考えなければならない。メディアを使用する子どもたちが便利さを享受する半面で、被害者になったり、加害者になることがないように、安全な使い方や身の守り方を子どもと共有したり、教えたり、時には闘うくらいの覚悟も必要だろう。

## ◎中学校（2）グループ

SNSとの付き合い方を考えていくべきである。都合のよい情報ばかり選んでしまわないようにしていくべきではないだろうか。しかし、その指導の難しさは、親と子どもの操作スキルが逆転し、制御ができないことが挙げられると思われる。それを防ぐためには公の場での勉強会などが必要であると思う。

そもそも、SNSをコミュニケーションの道具とすると、「直接会って話す」ことよりも劣ると言えるが、「人間関係を結ぶ」ことや、「考えを伝える」ことについてはその活用によって幅広がる可能性がある。保護者もわからないと言わず、しっかり学び、踏み込んでいくことが必要である。またSNSはコミュニケーションの一部にすぎないことを教え、コミュニケーションとはやはり人と人とが直接築きあげていくものということを的確に教えていくことが大切である。当然、使用時の約束事や、これまで通り、情報モラルを指導することは必須である。

## ◎高等学校グループ

- 1人一台携帯を持つ時代が本当にやって来た。今後、私達が情報の受け手だけでなく、情報の発信者となる時代がやってくる。そのときに対応できるようにならなければいけない。
- 信頼性を考えるときは、まず情報ソースを考える必要がある。どこからの情報かを吟味することが大切である。
- 熊本に子どもがいる人の経験だが、震災の際、SNSなどを使って無避難できた。そんな側面もある。
- 子どもは友達とのコミュニケーションのツールとして依存してしまう側面もあるが、その子どもたちもいずれは大人になる。30年もすればまた新たなメデ、イア対応力が必要となるであろう。その時々情報ソースををしっかり吟味していく力を育成していくことが大切だ。

## ◎特別支援学校グループ

### スマホの使い方

- 子どもとの距離感，音声入力は特別支援向き，スタンプでコミュニケーション，動画サイトでは自然と不適切なサイトにいつていることもあるので確認が必要である。
- 家族ラインでスタンプをすることで感情がわかる  
→間違ったサイトにつながらないか

### まとめ

メリット・・・コミュニケーションツール，GPS機能

デメリット

- ・・・不適切なサイトにアクセス→履歴を確認することやルールの確認